

平成25年10月25日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 4 件
(うちガストーチ 1 件、屋外式ガス給湯付ふろがま (LP ガス用) 1 件、
ガスふろがま用バーナー (都市ガス用) 1 件、
石油ストーブ (密閉式、床暖房機能付) 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 2 件
(うち電気ストーブ (オイルヒーター) 1 件、ポータブルトイレ 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 5 件
(うち椅子 (子供用) 1 件、加湿器 1 件、靴 1 件、エアコン 1 件、扇風機 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議 (※)
において、審議を予定している案件
該当案件無し

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

(管理番号A201100901を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 積水化学工業株式会社が製造したポータブルトイレについて(管理番号A201300494)

①事象について

施設で当該製品に向かってうつ伏せ状態で倒れている使用者が発見され、死亡が確認されました。

事故原因は、現在、調査中ですが、当該製品の肘掛けと背もたれの隙間に首を挟んだものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種(下記③)について、2002年(平成14年)5月からウェブサイトにて情報掲載し、設置や使用上の注意喚起を行うとともに、肘掛けと背もたれの隙間を埋める補助部材や隙間のない肘掛けの無償提供を実施していました。同年10月からは、肘掛けと背もたれの隙間のない製品を製造・販売しています。

今回の事故を受け、同社は、全国の介護施設に対し、また販売店を通じ、ダイレクトメールの送付、さらに介護サービス業界紙等に社告を掲載することにより、注意喚起及び肘掛けと背もたれの隙間のない製品への無償交換の呼び掛けを行う予定です。

③対象製品：品名、機種・型式、販売期間、販売個数

品名	機種・型式	販売期間	販売個数
ポータブルトイレ座楽背もたれ型	S P T S D	1996年10月 ～2002年3月	105, 336個
ポータブルトイレ座楽背もたれ型 S B	S P T S B		7, 680個
ポータブルトイレ座楽背もたれ型 H D	S P T H D		257個
ポータブルトイレ座楽背もたれ型 S P	S P T S P	2000年11月 ～2002年6月	61, 620個
ポータブルトイレ座楽背もたれ型 S Pスフト便座・便フタタイプ	S P T S P S		3, 025個
ポータブルトイレ座楽背もたれ型 S Pあたたか	A P T S P		188個
ポータブルトイレ座楽背もたれ型 S P小口径便座タイプ	S P T S P M B		4個
計			178, 110個

2002年5月1日からリコール実施

改修率(交換率)：18.5%(2013年9月30日現在)

※機種・型式(SPTSD、SPTSB、SPTH D)を除く。

＜対象製品の外観＞

すき間



SPTSD



SPTSB



SPTHD

すき間



SPTSP



SPTSPS



APTSP



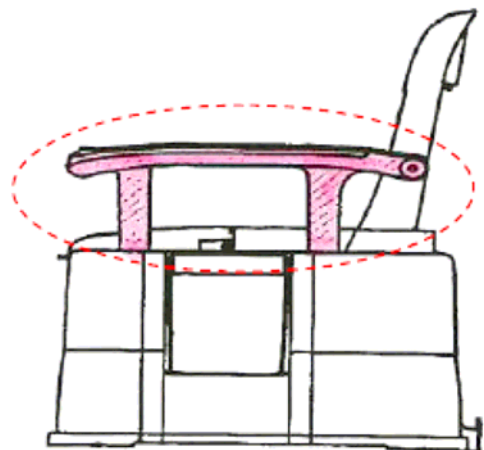
SPTSPMB

（注）折り畳み蓋の裏面に「SEKISUI」と表記しています。

＜交換を行う製品の外観＞

次のような肘掛けと背もたれの隙間のない製品に交換します。

上記の対象製品をお持ちの方は、下記の問合せ先まで御連絡ください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、下記問合せ先まで御連絡ください。

（事業者の告知）

- | | |
|-------------------|----------------|
| ・ウェブサイトへの情報掲載 | 2013年10月28日（月） |
| ・ダイレクトメールの送付 | 2013年12月初旬から順次 |
| ・介護サービス業界紙等への社告掲載 | 2013年12月初旬から順次 |

（問合せ先）

積水化学工業株式会社お客様相談室

電話番号：0120-011-578

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日及び同社定休日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.sekisui.co.jp/>

→「お客様へのお知らせ」

→「ポータブルトイレ背もたれ型シリーズをお持ちの方へ」

※ 2013年10月28日開設

(2) 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）について （管理番号A201300500）

①事象について

株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（都市ガス用）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）4月19日からウェブサイトによる告知（2013年3月7日再周知）とともに、使用者へのダイレクトメールの送付や電話連絡等によりこれまで継続的に注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換（ガバナ部（整圧器）等の交換）を実施しています。

③対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

会社名	機種・型式	製造期間
(株)世田谷製作所	R38B	1998年5月～2006年5月
	R137B	1997年6月～2006年5月
	CS31B	1998年6月～1998年8月
	CS32B	1998年10月～2006年4月
	CS33B	2001年5月～2001年6月
	FE15	2000年4月～2006年5月
	TA-097UET	1997年9月～2006年5月
	TA-270UET	1997年8月～2006年5月
	TA-OK270UET	1997年8月～2006年5月
	GS-1	2000年11月～2005年11月

東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)オカキン	OK-A型-LE OK-B型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

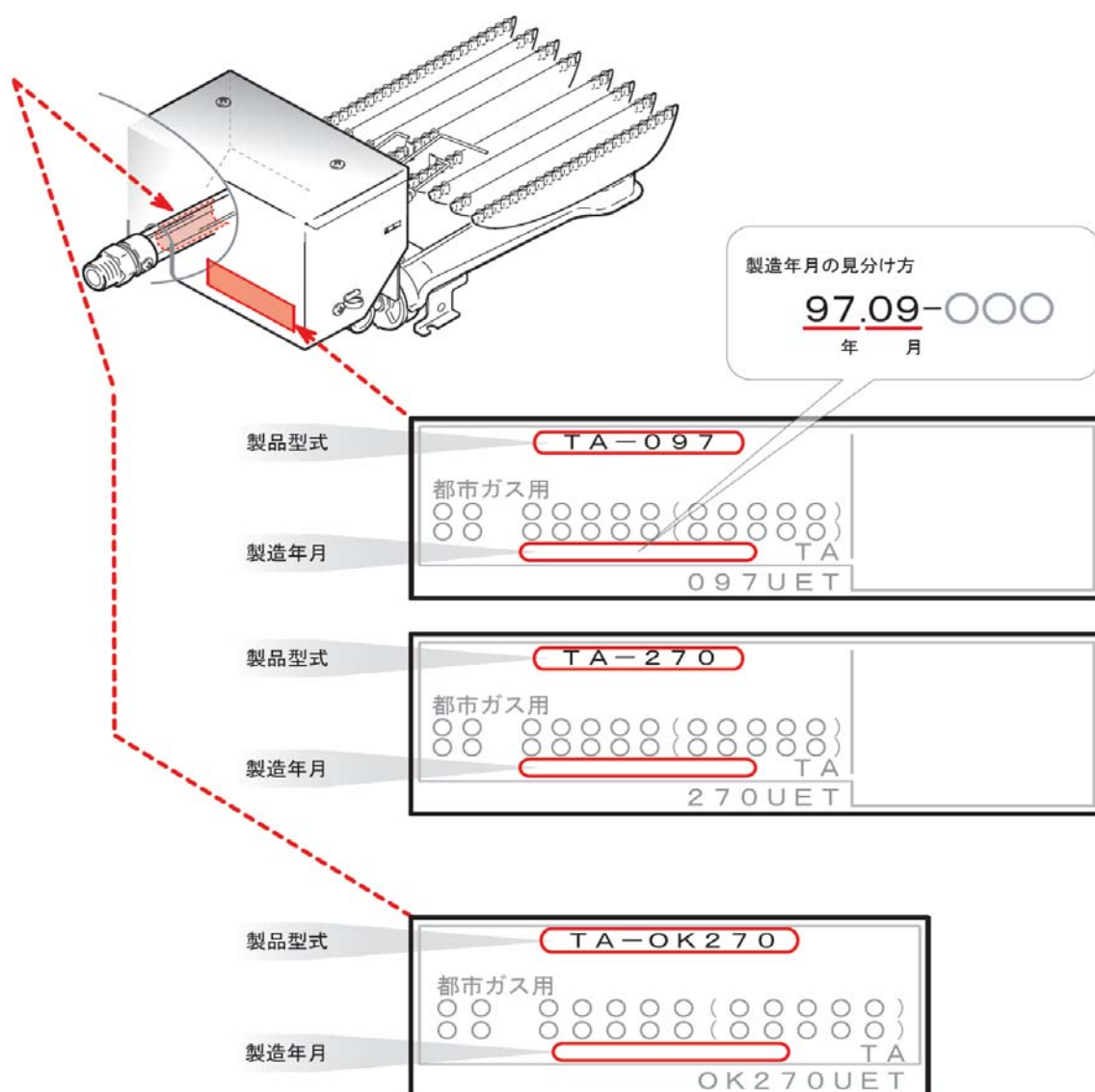
※ 対象製品には、株式会社世田谷製作所のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付きふろがまのOEM供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品があります。

2007年4月19日からリコールを実施

改修対象台数 39, 337台

改修率 73.2% (2013年9月30日現在)

対象製品の外観及び確認方法



対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社世田谷製作所の問合せ先)

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（平日のみ。）

ウェブサイト：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/>

(東京ガス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ウェブサイト：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

(株式会社オカキンの問合せ先)

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ウェブサイト：<http://www.okakin.com/news/0.html>

(株式会社ハーマンの問合せ先)

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（平日のみ。）

ウェブサイト：<http://www.harman.co.jp/important/jisyutenken/2007/04/post-14.html>

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課
(製品事故情報担当) 担 当 : 大木、長井、清重
電 話 : 03-3507-9204 (直通)
F A X : 03-3507-9290

(積水化学工業株式会社が製造したポータブルトイレについての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー(都市ガス用)についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当 : 水野、長沼、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201300496	平成25年10月6日	平成25年10月21日	ガストーチ	EC-300	榮製機株式会社	火災	当該製品を点火して七輪に近づけたところ、当該製品から炎が上がり、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	群馬県	
A201300499	平成25年10月2日	平成25年10月22日	屋外式ガス給湯付 ふろがま(LPガス用)	RUF-2406SAW	リンナイ株式会社	火災	ガスの供給が停止されていた時に、当該製品を使用しようとしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	10月18日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201300500	平成25年10月14日	平成25年10月22日	ガスふろがま用 バーナー(都市ガス用)	TA-OK270UET	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部(整圧器)のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	大阪府	10月15日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済 10月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 73.2%
A201300501	平成25年10月15日	平成25年10月23日	石油ストーブ(密閉式、床暖房機能付)	UFH-112TBFM	サンポット株式会社	火災 軽症1名	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽症を負った。現在、原因を調査中。	北海道	10月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201100901	平成23年12月26日	平成24年1月27日	電気ストーブ(オイルヒーター)	R731015EF	デロンギ・ジャパン株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は電源コードをコードホルダーに巻き付けた際、コードクランプ部に来る電源コードに屈曲とねじれた状態となり、かつ、電源コードをコードホルダーに巻き付ける際にコードクランプ部に来る電源コード部分に屈曲等のストレスが繰り返し加わっていたため、これらの複合的な要因によって電源コードの芯線が断線し、出火に至ったものと考えられる。	埼玉県	平成24年1月31日に、ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201300494	平成25年9月22日	平成25年10月21日	ポータブルトイレ	SPTSP	積水化学工業株式会社	死亡1名	施設で当該製品に向かってうつ伏せ状態で倒れている使用者が発見され、死亡が確認された。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品の肘掛けと背もたれの隙間に首を挟んだものと考えられる。	新潟県	事業者が事故を認識したのは、10月11日 平成14年5月1日からリコールを実施(特記事項を参照)

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201300492	平成25年9月16日	平成25年10月21日	椅子(子供用)	重傷1名	大人が当該製品を踏み台にして立ったところ、転倒し、負傷した。当該製品の脚部が折れており、使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	事業者が事故を認識したのは、10月17日
A201300493	平成25年10月2日	平成25年10月21日	加湿器	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201300495	平成25年9月24日	平成25年10月21日	靴	重傷1名	学校で当該製品を履いて歩行中、振り向いた際に転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	事業者が事故を認識したのは、10月17日
A201300497	平成25年10月7日	平成25年10月21日	エアコン	火災	宿泊施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201300498	平成25年10月9日	平成25年10月22日	扇風機	火災	社員寮で当該製品を使用したまま外出したところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	製造から25年以上経過した製品

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気ストーブ（オイルヒーター）（管理番号：A201100901）

